

大田区 公共施設 換気状況調査結果

慶應義塾大学理工学部 教授 奥田知明
公益財団法人 大田区文化振興協会
2023年5月8日

調査期間：2023/4/18, 4/20

調査場所：大田区民ホール・アプリコ 展示室・小ホール・大ホール

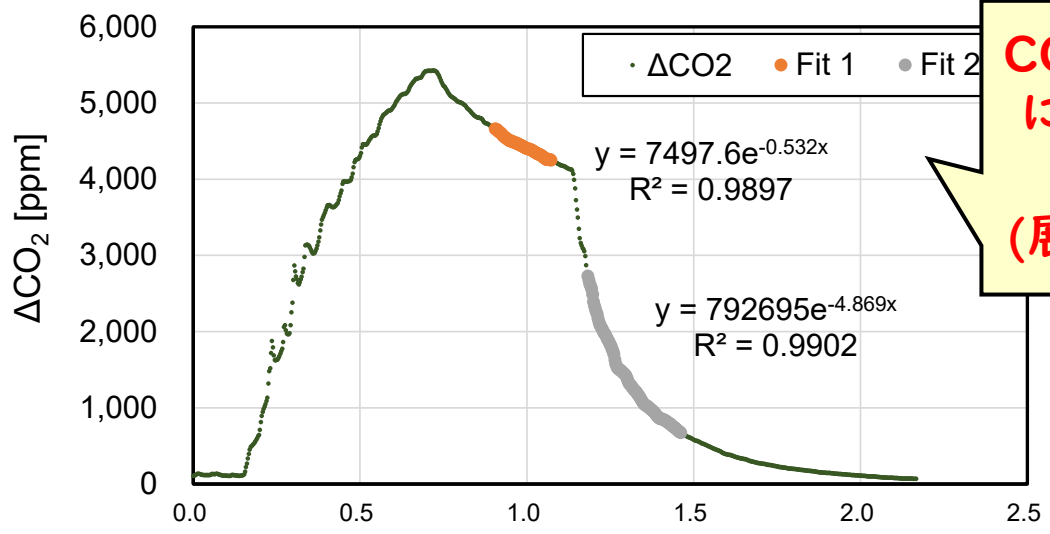
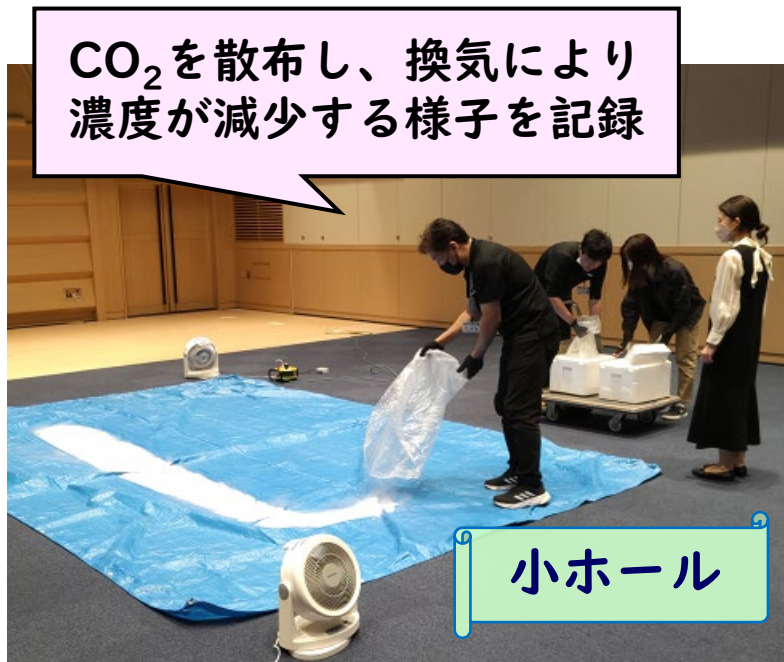
調査方法：CO₂およびスモーク粒子（大ホールのみ）によるトレーサー法

計測原理：CO₂・・・NDIR（非分散型赤外分光法）、粒子・・・光散乱法

結果概要：展示室・小ホール・大ホール、全てにおいて空間の換気状況に大きな問題はなかった。特に大ホールの換気状況は良好であり、施設改修前と比較して改善が見られた。今後は現状のまま通常通りの施設の稼働を続けながら継続的な入場人数とCO₂濃度の記録を取り、実際のデータに基づいた換気対策を必要に応じて実施することが望ましい。

※会場内において感染リスクが無いことを保証するものではありません

調査の様子と結果の一例



CO₂の減少は非常に速い→十分な換気量を確認 (展示室の測定例)

広いホールを多数の装置で科学的に測定 (矢印は測定箇所)

